

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	15	閉経後ホルモン受容体陽性転移・再発乳癌に対する三次治療以降内分泌療法として、何が推奨されるか？
P	閉経前ホルモン受容体陽性転移・再発乳癌三次治療以降内分泌療法	
I	FUL+CDK4/6i	
C	FUL	
臨床的文脈	転移性乳癌に対するホルモン療法	

O1	Overall Survival
非直接性のまとめ	データなし
バイアスリスクのまとめ	PALOMA-3は二重盲検化されているため、バイアスリスクは低い。
非一貫性その他のまとめ	OS結果はなし。
コメント	QOLはPALOMA-3で差がないとの結果。

O2	PFS
非直接性のまとめ	PALOMA-3では6割程度が3次以降患者であり、直接性-1。
バイアスリスクのまとめ	二重盲検化されているため、バイアスリスクは低い。
非一貫性その他のまとめ	一貫性は高い。

O3	ORR/CBR
非直接性のまとめ	PALOMA-3では6割程度が3次以降患者であり、直接性-1。
バイアスリスクのまとめ	二重盲検化されているため、バイアスリスクは低い。
非一貫性その他のまとめ	一貫性は高い。

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	15	閉経後ホルモン受容体陽性転移・再発乳癌に対する三次治療以降内分泌療法として、何が推奨されるか？
P	閉経前ホルモン受容体陽性転移・再発乳癌三次治療以降内分泌療法	
I	EXE+EVE	
C	EXE	
臨床的文脈	転移性乳癌に対するホルモン療法 Adv Ther 2014; 31:1008-1009, .Ann Oncol 2014; 25:2357-2362,	

O1	Overall Survival
非直接性のまとめ	直接性は問題なし。
バイアスリスクのまとめ	二重盲検でありバイアス少ない。
非一貫性その他のまとめ	RCT1つ
コメント	QOLは差がない

O2	PFS
非直接性のまとめ	直接性は問題なし。
バイアスリスクのまとめ	二重盲検でありバイアス少ない。
非一貫性その他のまとめ	RCT1つ

O3	ORR/CBR
非直接性のまとめ	直接性は問題なし。
バイアスリスクのまとめ	二重盲検でありバイアス少ない。
非一貫性その他のまとめ	RCT1つ